



エス！エス！エスディーゼズ

SDGs

問 / 企画デジタル課SDGs推進室
(☎ 58-2220 FAX 58-2291)



SDGsってなんだろう？

SDGs (Sustainable (サステナブル) Development (デベロップメント) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことです。経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、『誰一人取り残さない』ことを誓っています。

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

5 ジェンダー平等を実現しよう



男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

誰もが活躍できる社会にするのだ！



女性の能力が発揮できる場所は、まだまだあるはず！

ジェンダーってなんだろう？

ジェンダーとは日本語で「社会的性別」と訳されます。例えば「男の子は青、女の子はピンク」「お父さんは会社で働いて、お母さんは家で家事をする」というように、男女の違いによって、周りの人が無意識に抱くイメージや役割分担があります。

- ・身体的な性別…生物学的性別。主に体の違い。
- ・ジェンダー…社会的性別。「男性はこうあるべき」「女性はこうするべき」という社会の中でつくられたイメージや役割分担。

女性のチカラが輝くまち

近年、災害時の避難対応について、女性の視点が重要視されています。例えば、避難場所の更衣室やトイレは男女別にする、授乳室を設けるなどは、女性の意見から取り入れられました。これまで、男性の関わりが大きかった活動に、女性が積極的に参画することで、女性や子どもが避難所で安心して過ごせる環境が整うようになってきました。

こうした中、令和2年10月、災害時にデリケートな支援が必要な人たちの側に立って、避難者支援や避難所運営などに携わる目的で、市消防団に女性分団「能美の女組」が発足しました。「地域へ貢献したい」という熱い志を持った女性16名で構成されており、普段はそれぞれ別々の仕事をしながら、火災防ぎょ訓練や商業施設、事務所などでの消防用設備の点検、防火防災の啓発活動など、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

誰もが自分らしく活躍し、安心して暮らせる社会をつくるには、女性が能力を発揮し活躍できる場を広げること、女性の意見を取り入れることが必要となっています。これらを後押しするためにも社会全体で女性の活躍を推進することが大切です。性別による役割意識の固定概念にとらわれず、家庭や職場など自分の身近なところで、私たち一人一人の個性と能力を活かすために男女平等を実現していきましょう。



火災防ぎょ訓練での活動



女性分団「能美の女組」発足式

7月下旬に公開を予定していた「のみSDGsホームページ」は8月8日に開催予定の「のみSDGsパートナーズキックオフイベント」に合わせて公開することになりました。



のみSDGs
ホームページ

